

埼玉大学長 殿

動物実験報告書

動物実験責任者

所属 理工学研究科

職名 教授

氏名 〇〇 〇〇

国立大学法人埼玉大学動物実験規則第16条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

実験計画において50匹以上で申請しており、大幅(30%程度)の増減がある場合は、「一部変更」としますので、チェックと理由を記載してください。

2. 実験の実施状況・結果等 ※1	〇〇に関する研究 承認番号 (RO-A-1〇)
	<input type="checkbox"/> 計画どおり実施して終了した。 <input type="checkbox"/> 中止した (年 月 日) <input checked="" type="checkbox"/> 一部変更して実施して終了した。
実施状況・変更内容・結果の概要等	
〇〇について実験を行い、〇〇という成果を得ることができた。 なお、匹数については〇〇により、予定より使用量が多くなっている。	

実験内容に対し、雌雄の別が重要でない場合は【雌雄合計】の匹数を記載して構いません。

3. 実験動物※2	使用動物について
	<input type="checkbox"/> 全て処分した。 <input type="checkbox"/> その他の事由により処分していない。 <input checked="" type="checkbox"/> 継続研究(承認番号: RO-A-1-〇)のために一部または全てを処分していない。
使用動物数※3	
<input checked="" type="checkbox"/> マウス (匹数: 雌雄200 うち生存数: 雌雄100) <input type="checkbox"/> ラット (匹数: うち生存数:) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (動物種名: スンクス) (匹数: 20 うち生存数: 10)	

実態に応じてどちらかを削除してください。

備考

4. 成果※4 必ず何かしら記載してください。 2. の結果概要と内容が一部重複して構いません。 実験が失敗した場合でも、そこから次のアプローチを検討することができた、などそこから得た成果を記載してください。	①公表された成果がある場合 学会発表:【発表タイトル】、【発表者名】、【学会名】、【発表年月日】、【口頭発表またはポスター発表の別】 論文:【査読の有無】、【タイトル】、【著者名】、【掲載誌名】、【巻号】、【掲載ページ】 投稿中の論文の情報記載も公表された学術論文に準じてください。
	②論文を執筆中(予定含む)の場合 例:本実験より得られた〇〇〇〇に関する研究の結果をまとめて、現在論文を作成している。 ③教育が目的で実施された動物実験の場合 例:〇〇の一部として実施された本実験は、履修学生の〇〇に関する学習の向上に役立ち、学問の深化を図る上で意義があった。本実験を実施することで教育目標を達成することができた。

5. 特記事項

部局等の長の確認

事務で記入

日

※所属する部局等の長の確認を受け、そのことが分かる資料を添付すること。

- ※1 該当項目にマークし、その概要を簡潔に記載。一部変更して実施した場合は変更内容を併せて記載。中止した場合はその理由を記載。
- ※2 使用動物数は、実験に供した動物数のみを記載する。「その他の事由により処分していない」場合は備考に理由を記載。
- ※3 当該年度における購入動物、自家生産動物、あるいは前年度からの継続飼養保管動物などを含む。
- ※4 得られた業績について記載すること。
(例: 雑誌論文、図書、工業所有権などについて、著者名、論文標題、雑誌名、巻・号、発行年、頁、出版社などを記載すること。必要に応じて別紙に記載する。)